



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フォーバル
コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二

TEL 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	36,949	0.6	1,612	7.2	1,663	12.0	975	32.1
28年3月期第3四半期	36,737	15.8	1,504	25.3	1,485	27.9	738	△10.3

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 1,315百万円 (88.1%) 28年3月期第3四半期 699百万円 (△5.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	38.26	38.26
28年3月期第3四半期	28.94	28.92

(注)当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	20,243	8,366	37.6	298.63
28年3月期	20,534	7,493	33.2	267.52

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 7,613百万円 28年3月期 6,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	15.50	15.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.50	15.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	52,500	4.2	2,450	3.0	2,450	5.1	1,400	3.6	54.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	27,732,622 株	28年3月期	27,732,622 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,237,448 株	28年3月期	2,254,407 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	25,487,513 株	28年3月期3Q	25,513,119 株

(注) 当社は、平成27年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。期中平均株式数は、平成28年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や個人消費が底堅く推移する一方で、英国のEU離脱問題や中国における景気の下振れリスク、米国の新政権の政策の不確実性への懸念等から、先行き不透明な状況が続いています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大するとともに、AIを活用したサービスの開発が加速しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信分野）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外分野）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境分野）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育分野）」の4分野に特化することで他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような環境のもと当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ211百万円増加し、36,949百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ1,041百万円増加（前年同期比9.9%増）した一方で、販売費及び一般管理費が人件費や支払販売コミッションの増加等により前年同期に比べ932百万円増加（前年同期比10.3%増）したことで、営業利益は1,612百万円（前年同期比7.2%増）、助成金収入の増加や持分法による投資損失が減少したことで経常利益は1,663百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

また、税金費用、非支配株主に帰属する四半期純利益が減少したことで親会社株主に帰属する四半期純利益は975百万円（前年同期比32.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」が順調に拡大したほか、ネットワークセキュリティ関連等が堅調に推移した結果、売上高は13,064百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は949百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやISPが順調に拡大した結果、売上高は10,524百万円（前年同期比9.5%増）、印刷関連の子会社の売上高減少や、保険関連の子会社の売上高減少及び保険業法改正の影響によるコスト増によりセグメント利益は448百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比3.5%減となったことに加え価格帯の低い端末の取り扱いが増えたことで、売上高は7,442百万円（前年同期比10.9%減）、オプション契約が増えたものの販売数量・単価の減少を補いきれずセグメント利益は260百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

産業用システムが減少した結果、売上高は5,164百万円（前年同期比7.6%減）、一方で高付加価値の発電効率が高いシステムの販売が増えたことで利益率が改善し、セグメント利益は12百万円（前年同期は86百万円の損失）となりました。

<その他事業グループ>

IT教育サービス事業関連の子会社の売上高が減少した結果、売上高は753百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益は15百万円（前年同期比60.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ290百万円減少し20,243百万円となりました。

流動資産は15,186百万円となり、前連結会計年度末比579百万円の減少となりました。これは主として受取手形及び売掛金が757百万円減少したためです。

固定資産は5,057百万円となり、前連結会計年度末比288百万円の増加となりました。これは主として時価上昇により投資有価証券が305百万円増加したためです。

流動負債は9,673百万円となり、前連結会計年度末比1,126百万円の減少となりました。これは主として短期借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金が737百万円、未払法人税等が742百万円減少したためです。

固定負債は2,204百万円となり、前連結会計年度末比37百万円の減少となりました。これは主として長期借入金が増加したためです。

純資産は8,366百万円となり、前連結会計年度末比872百万円の増加となりました。これは主として株主資本が592百万円、投資有価証券の時価上昇によりその他の包括利益累計額が204百万円増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、平成28年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,756,026	5,695,727
受取手形及び売掛金	5,545,587	4,787,851
商品及び製品	890,382	857,245
仕掛品	64,524	85,719
原材料及び貯蔵品	33,307	57,838
その他	3,547,486	3,795,690
貸倒引当金	△71,443	△93,898
流動資産合計	15,765,871	15,186,173
固定資産		
有形固定資産	492,471	488,336
無形固定資産		
のれん	184,376	154,190
その他	493,443	597,229
無形固定資産合計	677,819	751,420
投資その他の資産		
投資有価証券	1,460,215	1,765,890
その他	2,491,577	2,471,057
貸倒引当金	△353,319	△419,110
投資その他の資産合計	3,598,473	3,817,837
固定資産合計	4,768,764	5,057,594
資産合計	20,534,636	20,243,768
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,184,858	4,447,590
短期借入金	674,396	1,211,196
未払金	1,807,218	1,854,723
未払法人税等	864,075	122,060
賞与引当金	525,878	420,828
役員賞与引当金	166,158	118,039
返品調整引当金	21,969	14,313
その他	1,554,748	1,484,549
流動負債合計	10,799,303	9,673,300
固定負債		
長期借入金	43,252	9,350
退職給付に係る負債	2,126,334	2,127,602
持分法適用に伴う負債	30,251	30,869
その他	41,583	36,378
固定負債合計	2,241,421	2,204,200
負債合計	13,040,725	11,877,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,272,139	2,275,627
利益剰余金	1,147,130	1,727,464
自己株式	△1,221,144	△1,211,968
株主資本合計	6,348,420	6,941,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	575,688	766,146
為替換算調整勘定	△8,556	△10,990
退職給付に係る調整累計額	△99,653	△82,959
その他の包括利益累計額合計	467,479	672,196
新株予約権	4,496	17,361
非支配株主持分	673,514	735,290
純資産合計	7,493,911	8,366,267
負債純資産合計	20,534,636	20,243,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	36,737,206	36,949,116
売上原価	26,182,177	25,352,628
売上総利益	10,555,028	11,596,487
販売費及び一般管理費	9,050,670	9,983,496
営業利益	1,504,358	1,612,991
営業外収益		
受取利息	5,412	5,317
受取配当金	14,687	11,213
違約金収入	51,472	55,931
助成金収入	1,458	48,533
その他	28,882	36,106
営業外収益合計	101,911	157,103
営業外費用		
支払利息	8,681	8,209
貸倒引当金繰入額	14,067	58,345
持分法による投資損失	87,028	32,150
その他	11,389	7,670
営業外費用合計	121,167	106,375
経常利益	1,485,102	1,663,719
特別利益		
固定資産売却益	213	-
投資有価証券売却益	-	5,550
特別利益合計	213	5,550
特別損失		
固定資産除売却損	2,483	239
投資有価証券評価損	-	7,261
減損損失	-	2,618
特別損失合計	2,483	10,119
税金等調整前四半期純利益	1,482,832	1,659,149
法人税、住民税及び事業税	558,894	496,542
法人税等調整額	31,391	51,693
法人税等合計	590,285	548,236
四半期純利益	892,547	1,110,913
非支配株主に帰属する四半期純利益	154,157	135,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	738,390	975,246

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	892,547	1,110,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186,237	190,457
退職給付に係る調整額	△4,268	16,694
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,645	△2,434
その他の包括利益合計	△193,150	204,716
四半期包括利益	699,396	1,315,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545,239	1,179,963
非支配株主に係る四半期包括利益	154,157	135,666

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,353,114	9,608,167	8,349,993	5,591,251	35,902,527	834,679	36,737,206
セグメント間の内部 売上高又は振替高	353,129	496,405	13,054	-	862,589	5,400	867,989
計	12,706,244	10,104,573	8,363,047	5,591,251	36,765,116	840,079	37,605,195
セグメント利益又は損 失(△)	909,704	459,477	265,438	△86,230	1,548,389	38,311	1,586,700

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,548,389
「その他」の区分の利益	38,311
セグメント間取引消去	4,657
のれんの償却額	△86,999
四半期連結損益計算書の営業利益	1,504,358

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,064,042	10,524,982	7,442,105	5,164,811	36,195,941	753,174	36,949,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	397,073	437,880	15,272	12,184	862,410	26,750	889,160
計	13,461,116	10,962,862	7,457,377	5,176,996	37,058,352	779,925	37,838,277
セグメント利益	949,366	448,380	260,873	12,367	1,670,988	15,296	1,686,284

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,670,988
「その他」の区分の利益	15,296
セグメント間取引消去	11,363
のれんの償却額	△84,657
四半期連結損益計算書の営業利益	1,612,991

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては145千円であります。

また、処分を予定している事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2,250千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては221千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。